

月日	発表者	問合せ先	
		電話番号	担当者
令和3年11月29日(月) 午後2時	関西広域連合広域産業振興局スタートアップ支援課 (大阪府商工労働部中小企業支援室商業・サービス産業課)	06-6210-9492	主査 島田 副主査 山中

「関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業」 情報発信戦略の策定及びポータルサイトのオープンについて

広域産業振興局では、スタートアップ・エコシステムの形成に取り組んでいます。

この度、「関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業」に係る情報発信戦略を策定しました。

本戦略では、関西スタートアップ・エコシステムの魅力、ポテンシャル、将来性を国内外へ発信し、他エリアにはない特徴を広くアピールし、国内外の様々なリソース(スタートアップ、人材、投資家等)の集積を可能とする日本有数の研究開発型スタートアップの地「ディープテックバレー“KANSAI”」をブランドとして確立することで、関西経済の活性化、持続的な経済成長を目指します。

また、本戦略の策定に伴い、情報発信事業の一環として、ポータルサイト「関西スタートアップ・エコシステム」を本日オープンしました。

本ポータルサイトを関西スタートアップ・エコシステムの総合窓口とし、京阪神グローバル拠点都市をはじめとした各構成府県市の支援情報、関西発スタートアップの情報、イベント情報やコミュニティの情報など多彩なコンテンツにより国内外のメディアに対し、情報発信の強化を図っていきます。

また、本ポータルサイトの作成に併せて、関西スタートアップ・エコシステムのロゴマークを作成しました。今後ポータルサイトやイベント等において掲示を行い、ブランドイメージの定着を目指します。

■情報発信戦略

(別紙1)をご覧ください。

■ロゴマーク

(別紙2)をご覧ください。

■オープン日

令和3年11月29日

■ポータルサイト「関西スタートアップ・エコシステム」URL

<https://kansai-startup-ecosystem.com/>

別紙 1



関西広域連合
関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業
情報発信戦略 (2021-2024)

令和 3年 11月





アジェンダ

1. 目的・概要・確立すべきブランドについて(p3-6)
2. ブランド確立の手法(p7-9)
3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション(p10-15)



目的

関西スタートアップ・エコシステムの魅力・ポテンシャル・将来性を国内外へ発信し、他エリアと差別化し、国内外の様々なリソース(スタートアップ、企業、人材、投資家、ベンチャーキャピタル等)の集積を可能とするブランドを確立することで、関西経済の活性化をめざす

概要

関西には、優れた大学、研究機関、企業、支援機関等が集積し、多様な分野で世界トップレベルの研究が進められるなど、世界に通じるイノベーション創出の潜在力がある。また関西は、国内はもとより世界から「人・モノ・投資・情報」が集まり、イノベーションが生まれる地域として、世界の中で輝き、日本の未来を牽引することを目指している。

令和2年7月14日、大阪・京都・ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアムが、内閣府から世界と伍する拠点形成をめざす「グローバル拠点都市」として選定された。今後京阪神は、そのポテンシャルを世界に向けて PR していくにあたり、国の情報発信支援の強化をはじめ拠点都市への集中的な支援を得られることが期待される。

そして、この機会を京阪神に留めず関西全域で活用することで、これまで関西で十分に発信できていなかった域内スタートアップ、大学、研究機関の魅力を国内外へ周知でき、域外企業、投資家等を関西へ呼び込むことができる。

これらの活動を通して、**関西全域のエコシステムとして発展させる**ことで、関西経済の活性化、持続的な経済成長につなげていく。

確立すべきブランド

日本有数の研究開発型スタートアップの地 ディープテックバレー“KANSAI”

関西には、優れた大学、研究機関、企業、支援機関等が集積し、多様な分野で世界トップレベルの研究が進められるなど、世界に通じるイノベーション創出の潜在力がある。また関西は、先端技術により人類がよりよく生きるための未来社会を発信する2025大阪・関西万博を控え、国内はもとより世界から「人・モノ・投資・情報」が集まり、イノベーションが生まれる地域として、世界の中で輝き、日本の未来を牽引することを目指している。

特に高度な研究開発力が生み出す革新的技術により世界の課題解決を図る「ディープテック」の分野において、関西は大学・企業・人材等の集積を強みに、バイオ・ヘルスケア・ライフサイエンス、マニュファクチャリング、情報・AI・ロボティクス等、様々な領域の技術シーズが日々磨かれている。

こうした特性は、世界有数のエコシステムを形成している米ボストンと共通項が多く、また研究開発型スタートアップを多く輩出する米シアトル、独ベルリンなどの強みとも重なる。

こうしたイノベーション創出力をスタートアップ創出を通じて発現し、社会に実装していくことで、いわば「アジアのボストン」のような地位を確立し、関西スタートアップ・エコシステムの国際認知度を向上していく。

1. 目的・概要・確立すべきブランドについて

研究開発型スタートアップ輩出のポテンシャル

地域別大学発ベンチャー企業数

地域	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度からの増減率
北海道・東北	241	263	277	1.15倍
関東	1,070	1,193	1,404	1.31倍
中部	142	172	181	1.27倍
近畿	423	493	569	1.35倍
中国・四国	167	180	184	1.10倍
九州・沖縄	210	248	267	1.27倍

順位	大学名	件数
1	東京大学	326
2	京都大学	227
3	大阪大学	179
4	筑波大学	146
5	東北大学	142
6	九州大学	126
7	東京理科大学	111
8	名古屋大学	110
9	東京工業大学	100
10	早稲田大学	91
11	慶應義塾大学	90
12	デジタルワールド大学	88
13	立命館大学	61
14	北海道大学	54
15	広島大学	53
16	九州工業大学	45
17	龍谷大学	44
18	会津大学	39
19	神戸大学	38
20	名古屋工業大学	36

出所：経済産業省 令和2年度産業技術調査（大学発ベンチャー実態等調査）報告書

関西から多くのノーベル賞受賞者を輩出 （日本人受賞者28人中16人）

○物理学賞

名前	受賞年	出身・学歴等/受賞理由
中村 雄二	2014年	徳島大学工学部卒、徳島大学博士課程(工学) 世界に先駆けて実用に供するレベルの高輝度青色発光ダイオードや青色半導体レーザーの製造方法を発明・開発
赤崎 勇	2014年	京都大学理学部卒 高輝度で省電力の白色光源を可能にした青色発光ダイオードの発明

○化学賞

名前	受賞年	出身・学歴等/受賞理由
田中 耕一	2002年	島津製作所(京都府)のシニアフェロー 生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
下村 博	2008年	京都府福知山市出身 緑色蛍光タンパク質(GFP)の発見と生命科学への貢献
吉野 彰	2019年	京都大学工学部卒、大阪大学大学院工学研究科博士課程(工学) リチウムイオン電池の開発

○生理学・医学賞

名前	受賞年	出身・学歴等/受賞理由
山中 伸弥	2012年	神戸大学医学部卒、大阪市立大学大学院博士課程、京都大学再生医科学研究所 様々な細胞に成長できる能力を持つiPS細胞の作製
本庶 佑	2018年	京都大学医学部卒、京都大学大学院医学研究科生体免疫学博士課程 免疫抑制分子であるPD-1分子を同定し、がん治療の応用に成功

○リーディングカンパニーの集積

●国内製薬会社売上高（2019年度）

順位	企業名	売上高(億円)
1	武田薬品工業(株)	32,911
2	大塚ホールディングス(株)	13,952
3	アステラス製薬(株)	13,008
4	第一三井(株)	9,817
5	イーザイ(株)	6,955
6	中外製薬(株)	6,861
7	大日本住友製薬(株)	4,827
8	田辺三菱製薬(株)	3,798
9	高野製薬(株)	3,349
10	富和発酵キリン(株)	3,058

●関西に本社を置く医療機器メーカー

- ニプロ(株) [6]
- シスメックス(株) [6]
- オムロン(株) [10]
- 日機製作所 [13]
- (株)カネカ [18]
- タカラ(バイオ) [22]

●関西に本社を置く主な機械・エレクトロニクス関連企業

- パナソニック(株)
- 京セラ(株)
- (株)村田製作所
- 日本電産(株)
- (株)ジェエス・ニアリコールドレーション
- 住友電気工業(株)
- シャープ(株)
- オムロン(株)
- コム(株)
- (株)キーエンス
- 日動産機(株)

◇関西に進出している外資系企業の例

企業名	親会社の国	事業内容
アストラゼネカ株	イギリス	医療用医薬品の開発・製造・販売
サンドビック株	スウェーデン	超硬工具、特殊鋼、電気抵抗発熱材料、スチールヘルト応用プロセスシステムの輸入製造・販売
ショット日本株	ドイツ	精密工具、温度センサー等の電子・電気部品の開発・製造・販売、特殊ガラス材料およびガラス製品の販売
ダイスタージャパン株	シンガポール	原料の製造・販売・輸出入
日本イーライリリー株	アメリカ	医薬品、畜産業の製造、輸入、販売、研究開発等
ネスレ日本株	スイス	飲料、食料品、菓子、ペットフード等の製造・販売
バイエル薬品株	ドイツ	医薬品、医療機器、動物用医薬品の開発、輸入、製造・販売
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株	アメリカ	日本における洗濯洗剤関連製品・化粧品、医薬品・化粧品・化粧品などの研究開発、販売、輸出入
ユニ・エス・ジエイ	アメリカ	国内大規模テーマパーク(LAS, J)の企画・運営、商品販売、飲食販売など

資料：2020年度 外資系企業経営



関西スタートアップ・エコシステムのブランド確立に向けて

- 関西はディープテック分野において高いポテンシャルを有しているが、スタートアップ・エコシステムとしてのステータスは、世界の他地域と大きな格差がある。
- しかしながら、ワールドワイドな競争力を得るためには、関西の有する優位性、強みを体現したブランド価値を確立することが不可欠であり、そのためには長期的な取組を継続する必要がある。
- そして、関西エコシステムにおいては、2025大阪・関西万博を控え、国内はもとより世界から「人・モノ・投資・情報」を誘引する機会を有している。
- このため、まずは、2024年度までを本戦略の期間と定めて、ブランド確立の一里塚とし、世界のエコシステム拠点との本格競争のスタートラインに立たなければならない。

※2024年度において、到達点を客観的な指標で評価するため、本戦略期間のKGIを定める。



本戦略期間において目指すべきKGI

本事業では、2024年までにライフサイエンス領域を中心としたエコシステムの評価を受け、ディープテックバレー“KANSAI”を「Global Startup Ecosystem Ranking」**30位以内**にランクインさせる（ボストンは5位）

City	Ranking 2020	Change from 2019	Change from 2017
Silicon Valley	1	0	0
New York City	2 (tie)	0	0
London	2 (tie)	▲ 1	▲ 1
Beijing	4	0	0
Boston	5	0	0
Tel Aviv - Jerusalem	6 (tie)	0	▼ -1
Los Angeles	6 (tie)	▲ 0	▲ 3
Shanghai	8	0	0
Sao Paulo	9	▲ 1	▲ 1
Stockholm	10	▲ 1	▲ 4
Washington DC	11	▲ 8	NEW
Amsterdam	12	▲ 3	▲ 7
Paris	12	▼ -4	▼ -2
Chicago	14	▲ 3	▲ 4
Tokyo	15	NEW	NEW
Berlin	16	▼ -6	▼ -9
Singapore	17	▼ -3	▼ -5
Toronto-Waterloo	18	▼ -5	▼ -2
Austin	19	▼ -9	▼ -6
Seoul	20	NEW	NEW
San Diego	21	▼ -1	NEW
Shenzhen	22	NEW	NEW
Atlanta	22	▲ 5	▼ -1
Denver-Boulder	22	▼ -3	▼ -3
Vancouver	25	▼ -1	▼ -10
Bangalore	26	▼ -8	▼ -6
Sydney	27	▼ -4	▼ -10
Hong Kong	28	NEW	NEW
Hong Kong	28	▼ -4	NEW
Sao Paulo	28	NEW	NEW
Bern-Geneva	31	▼ -12	NEW
Dallas	31 (tie)	NEW	NEW
Miami	31 (tie)	▼ -5	NEW
Munich	31 (tie)	▼ -5	NEW
Salt Lake-Provo	31 (tie)	NEW	NEW
Copenhagen	31 (tie)	NEW	NEW
Delhi	31 (tie)	NEW	NEW
Dublin	31 (tie)	▼ -10	NEW
Melbourne	31 (tie)	NEW	NEW
Montreal	31 (tie)	NEW	NEW

「Global Startup Ecosystem Ranking」とは

独立系の調査会社であるStartup Genomeが、世界150都市のスタートアップ・エコシステムを調査(年に一回)し、パフォーマンス、投資額、接続度、市場リーチ、ナレッジ、人材といった観点から各都市を評価してランキングを公表している調査レポート。

同社は過去10年にわたって世界中のエコシステムを研究していて、スタートアップデータベースのCrunchbaseやTNWといった世界有数のメディアとパートナーシップを組んでいる。

Global Startup Ecosystem Ranking掲載の狙い

- 優秀な研究者が海外に出ていくことを防ぐ役割
- グローバルなスタートアップエコシステムにおける関西エリアのポジションニング確立
- グローバルなスタートアップコミュニティへの関西エリアへのアテンション獲得と拡散
- ランクインというニュースバリューによる国内メディアへの訴求と拡散(東京に次いでランクインできればニュースバリューはより高まる)
- 上記による関西経済への波及効果

発信コンテンツの選定基準と項目

KGIの「Global Startup Ecosystem Rankingの30位以内に入る」ために必要なコンテンツを中心に、関西広域エリアのスタートアップ情報や各自治体などによる支援情報を発信/可視化していく

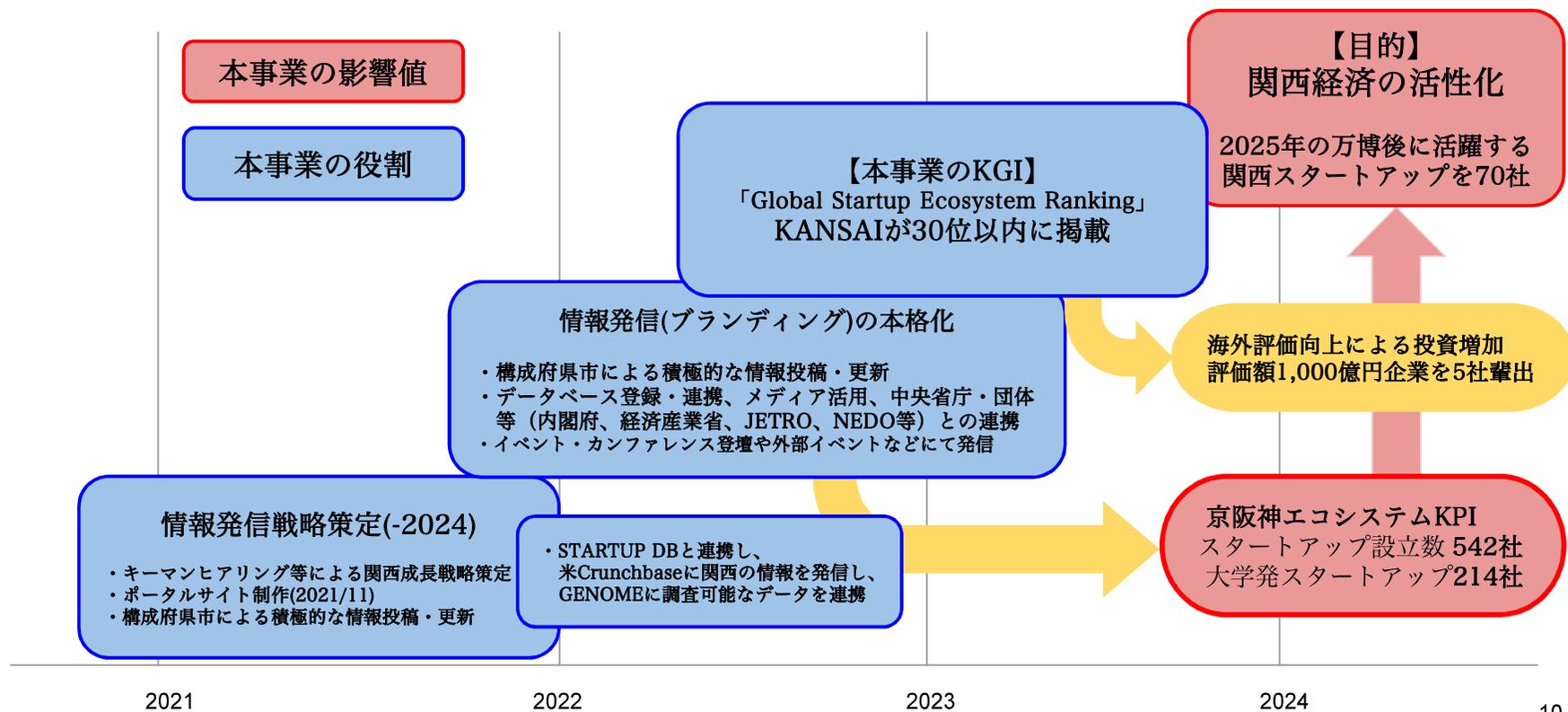
ポストンが評価されている内容 (Genome資料より)	関西広域が収集・発信すべきコンテンツ方針	関係各所/プレイヤー例	具体的な収集・発信項目 (Genome評価に繋がる情報)
様々な領域のスタートアップがいるエコシステム	関西に多い バイオ・ヘルスケア・ライフサイエンス、製造業、情報通信のスタートアップ に関する情報	HACK大阪(大阪)、KFS、OIH、大阪HVC京都(京都府/京都市)、ANCHOR神戸などが発信するスタートアップやイベントなどの情報	【スタートアップ情報】 ■企業情報 企業名/設立年月日/住所/ロゴ ■ファイナンス情報 資金調達金額/資金調達元
大学発などのバイオ・ヘルスケア・ライフサイエンス分野に関する情報	バイオ・ヘルスケア・ライフサイエンスを中心とした 大学発スタートアップや研究シーズ に関する情報	京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション(JST)、student Pitch、京大iCAPなどのファンド、各大学が発信するアカデミアが持つスタートアップ情報	■経営陣情報 役員名/役員略歴 【コミュニティ情報】 ■コミュニティ/施設 施設名/住所/コミュニティ参加企業名/スポンサー/イベント情報
製造業が強く、関連するスタートアップや生まれやすい環境	・当該エリアでの産学官連携 (オープンイノベーション) の実績や事例 ・当該エリアでの官・民が実施する オープンイノベーション プログラムの情報	TSEP、KGAP(けいはんな)、GET IN THE RING(大阪)、UNOPS(神戸市)など	■イベント情報 イベント名/イベント概要/日付/参加企業/スポンサー/出典/登壇者名/
複数のスタートアップコミュニティがある	・当該エリアでの エコシステムプレイヤー (VCやCVC、アクセラレーター、事業会社など) の情報 ・ コワーキングスペースやインキュベーションスペース、プログラム などの情報	阪急阪神グループ、大和ハウス工業、ダイキン工業、シスメックス、500startups、Plug and play Japanなど	【各自治体の支援情報】 ■支援プログラム インキュベーションプログラム、アクセラレータープログラム、起業支援メニュー、補助金など

3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション



2024年までのロードマップ

情報発信戦略に基づく施策の実行及びKGIの達成により、関西スタートアップ・エコシステムの形成に情報発信面から寄与する。



3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション



2024年までの戦略骨子

■ 確立すべきブランド：日本有数の研究開発型スタートアップの地ディープテックバレー ”KANSAI”
 ボストン、シアトル、ベルリンのような、研究開発型の大学発ベンチャーを増やし、世界に伝える活動が重要

	①2021	②2022	③2023	④2024
ブランディングの 主な手法	ポータルサイトを制作	ディープテックバレーとして、Crunchbase含む海外媒体へ情報発信		翌年度の万博開催というインパクトを活用したイベントなど、大学発研究開発型ディープテック集積地ブランドの海外向け発信/準備
データベース登録		「K2G (KANSAI to Global) スタートアップ」を選定・Crunchbase等への特集記事で発信（約10社を想定）	・スタートアップDB等有力データベースへの関西スタートアップの登録 累計100社 ・英語情報の登録 50社 (Crunchbase等への登録)	
域内スタートアップに関する 情報収集・発信方法	・収集方法：システムを導入し、各自治体からスタートアップ情報を自発的に集約/更新する。 ・発信方法：構成府県市による積極的な情報発信 スタートアップを産業別/フェーズ別に整理し、調達上位スタートアップについて特集記事を組むなど、国内外に向け注目が集まりやすい発信を実施（上述）。			
国内および海外メディアの 活用方法	国内：SDB、ForbesJapan 等 海外：Crunchbase、36kr 等			
ポータルサイト、SNS等デ ジタル媒体の活用方法	・ポータルサイト構築及び運用 ・SNSアカウント開設 (Twitter,facebookなど)	テキストリンク込の情報を他媒体 にて発信/SEO施策の実施	Twitter,facebookなどのSNSアカウントフォロワー数増加のためのオンラインイベントを実施	
期待効果	域内情報の網羅性を担保 ※アクセスすれば全体感が 掴める状態にする	関西スタートアップの動向や世界レベルで競争力ある関西スタートアップの 情報発信により、海外からの注目度が向上する		・「Global Startup Ecosystem Ranking」にて、 KANSAIが30位以内に掲載 ・翌年の万博開催と関西スタートアップの認知を高 め、海外投資家/事業家からのアプローチ数を拡大

3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション



各年度の主なアクション

2021		2022		2023		2024	
	情報収集	発信活動				年度Goal	
		海外向け		国内向け/産学官連携			
1 Q	—	—	—	—	—	(ポータルサイト含め)域内11府県市スタートアップ関連情報へのアクセスを可能にする ※以後戦略期間を通じ、構成府県市はポータルサイト等を積極的に活用し、情報を発信	
2 Q	各都市エコシステム有識者へのヒアリング実施	—	—	—	—		
3 Q	—	関西広域連合スタートアップポータルサイト作成					
4 Q	—	ポータルサイトナビゲーションとしてのテキストリンク込みでのクランチベース寄稿(1回)	・構成府県市及び大学/研究機関へのフォロー（情報発信の促進） ・全体パンフレットの作成 ・SNSアカウント整備				

3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション



各年度の主なアクション							
2021		2022		2023		2024	
	情報収集・データ登録	発信活動		年度Goal			
		海外向け	国内向け/産学官連携				
1Q	・2021年情報まとめ ↳想定時価総額/調達金額関西上位10社 ↳(IPO情報)J startup KANSAI ・データベース登録	6月:KANSAI 2021 まとめ記事を発信する。 ↳Crunchbase,Pitchbookなど ※まとめ記事 関西スタートアップの資金調達動 向、調達上位企業の詳細、その背景 にあるエコシステムの紹介 等	【イベント情報】 HACK OSAKA、KFS、OIH、大阪HVC京都、ANCHOR神戸な などが発信するスタートアップやイベントなど (イベント名/イベント概要/日付/参加企業/スポンサー/出典/登 壇者名 等) 【アカデミア情報】 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(JST)、 student Pitch、京大iCAPなどのファンド、各大学が発信するア カデミア情報 【競争力高い取組みへのフォーカス】 とっとりバイオフロンティア、和歌山製造技術紹介、徳島大学 LBD研究、滋賀県SDGs・実証実験情報など 【コミュニティ(施設)×大企業情報】 阪急阪神グループ、大和ハウス工業、ダイキン工業、シスメッ クス、500startups、Plug and play Japanなど (施設名/住所/コミュニティ参加企業名/スポンサー/イベント情 報 等) ・上記情報等を中心に適時に発信 ・サイトアクセス情報の解析結果を構成府県市へフィードバック(半期)	(KPI) ・有力スタートアップデー タベースへの関西スタート アップの登録 50社 (活動指標) ・国内：四半期に一度、関 西以外のカンファレンスや ピッチイベントなどで発信 (4回) ・海外：半期に一度、 Crunchbase,Pitchbookな ど投資家が見る海外メディ アへ発信			
2Q		-					
3Q	上半期サマリ ↳想定時価総額/調達金額関西上位10社 ↳(IPO情報)J startup KANSAI ・データベース登録	11月:KANSAI 2022上半期 まとめ記事を発信する。 ↳Crunchbase,Pitchbookなど					
4Q		関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベント (ディープテックバレーとしての強み、産業特性、関西スタートア ュップの資金調達動向等) ※新型コロナの動向等により手法を検討					

3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション



各年度の主なアクション					
2021		2022		2023	2024
	情報収集	発信活動			年度Goal
		海外向け	国内向け/産学官連携		
上期	<ul style="list-style-type: none"> 2022年情報まとめ └ 想定時価総額/調達上位10社 └ IPO情報 データベース登録 	<ul style="list-style-type: none"> 6月:KANSAI 2022 まとめ記事を発信。 └Crunchbase,Pitchbookなど 9月【スタートアップ情報(英語)】 <ul style="list-style-type: none"> ■企業情報 企業名/設立年月日/住所/ロゴ ■ファイナンス情報 資金調達金額/資金調達元 ■経営陣情報 役員名/役員略歴 	<ul style="list-style-type: none"> 【イベント情報】 HACK OSAKA、KFS、OIH、大阪HVC京都、ANCHOR神戸などが発信するスタートアップやイベントなど (イベント名/イベント概要/日付/参加企業/スポンサー/出典/登壇者名 等) SNSフォロワー拡大に向けたオンラインイベント開催 【アカデミア情報】 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(JST)、student Pitch、京大iCAPなどのファンド、各大学が発信するアカデミア情報 【競争力高い取組みへのフォーカス】 とっとりバイオフィロンティア、和歌山製造技術紹介、徳島大学LED研究、滋賀県SDGs・実証実験情報など 	<p>(KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> 有力スタートアップデータベースへの関西スタートアップの登録 累計100社 スタートアップ英語情報の登録 (Crunchbase等への登録) 50社 	
下期	<ul style="list-style-type: none"> 上半期サマリ └ 想定時価総額/調達上位10社 └ IPO情報 データベース登録 	<ul style="list-style-type: none"> 11月:KANSAI 2023上半期 まとめ記事を発信。 └Crunchbase,Pitchbookなど 2月【スタートアップ情報(英語)】 <ul style="list-style-type: none"> ■企業情報 企業名/設立年月日/住所/ロゴ ■ファイナンス情報 資金調達金額/資金調達元 ■経営陣情報 役員名/役員略歴 	<ul style="list-style-type: none"> 【コミュニティ(施設)×大企業情報】 阪急阪神グループ、大和ハウス工業、ダイキン工業、シスメックス、500startups、Plug and play Japanなど (施設名/住所/コミュニティ参加企業名/スポンサー/イベント情報等) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 上記情報等を中心に適時に発信 サイトアクセス情報の解析結果を構成府県市ヘフィードバック(半期) </div>		<ul style="list-style-type: none"> 海外に向けて強くPRしていく関西スタートアップのセレクションを実施。記事化、海外・国内へ発信。 スタートアップが海外投資家/事業家との人脈を確保し、具体的なアプローチを可能とする支援施策を検討(海外コミュニティの紹介、海外イノベーションイベントへの出展支援等、新型コロナウイルス感染症の影響等を勘案)

※前年度までの取組みを勘案し、優先課題を見極めて柔軟に対応。



3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション

各年度の主なアクション				
	2021	2022	2023	2024
	情報収集	発信活動		年度Goal
		海外向け	国内向け/産学官連携	
上期	<ul style="list-style-type: none"> 2023年情報まとめ └想定時価総額/調達上位10社 └IPO情報 データベース登録 	<ul style="list-style-type: none"> 6月:KANSAI 2023 まとめ記事を発信。└Crunchbase,Pitchbookなど 9月【スタートアップ情報(英語)】 <ul style="list-style-type: none"> ■企業情報 企業名/設立年月日/住所/ロゴ ■ファイナンス情報 資金調達金額/資金調達元 ■経営陣情報 役員名/役員略歴 	<ul style="list-style-type: none"> 【イベント情報】 HACK OSAKA、KFS、OIH、大阪HVC京都、ANCHOR神戸などが発信するスタートアップやイベントなど (イベント名/イベント概要/日付/参加企業/スポンサー/出典/登壇者名 等) SNSフォロワー拡大に向けたオンラインイベント開催 【アカデミア情報】 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(JST)、student Pitch、京大iCAPなどのファンド、各大学が発信するアカデミア情報 	<p>(KGI) 「Global Startup Ecosystem Ranking」にて、KANSAIが30位以内に掲載</p> <p>(KPI) ・スタートアップDB等有力データベースへの関西スタートアップの登録 累計150社 ・スタートアップ英語情報の登録 (Crunchbase等への登録) 累計100社</p>
下期	<ul style="list-style-type: none"> 上半期サマリ └想定時価総額/調達上位10社 └IPO情報 データベース登録 	<ul style="list-style-type: none"> 11月:KANSAI 2024上半期 まとめ記事発信。└Crunchbase,Pitchbookなど 2月【スタートアップ情報(英語)】 <ul style="list-style-type: none"> ■企業情報 企業名/設立年月日/住所/ロゴ ■ファイナンス情報 資金調達金額/資金調達元 ■経営陣情報 役員名/役員略歴 	<ul style="list-style-type: none"> 【競争力高い取組みへのフォーカス】 とっとりバイオフィロンティア、和歌山製造技術紹介、徳島大学LED研究、滋賀県SDGs・実証実験情報など 【コミュニティ(施設)×大企業情報】 阪急阪神グループ、大和ハウス工業、ダイキン工業、シスメックス、500startups、Plug and play Japan など (施設名/住所/コミュニティ参加企業名/スポンサー/イベント情報 等) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・上記情報等を中心に適時に発信 ・サイトアクセス情報の解析結果を構成府県市へフィードバック(半期) </div>	<p>※前年度までの取組みを勘案し、優先課題を見極めて柔軟に対応。</p>



年度KPIサマリ

	各年度Goal設定
2021	(ポータルサイト含め)域内11府県市スタートアップ関連情報へのアクセスを可能にする
2022	(KPI) ・スタートアップDB等有力データベースへの関西スタートアップの登録 50社 (活動指標) ・国内：四半期に一度、関西以外のカンファレンスやピッチイベントなどで発信 ・海外：半期に一度、Crunchbase,Pitchbookなど投資家が見る海外メディアへ発信
2023	(KPI) ・スタートアップDB等有力データベースへの関西スタートアップの登録 累計100社 ・スタートアップ英語情報の登録 (Crunchbase等への登録) 50社 ※スタートアップが海外投資家/事業者との人脈を確保し、具体的なアプローチを可能とする支援施策を検討 (海外コミュニティの紹介、海外イノベーションイベントへの出展支援等、新型コロナウイルス感染症の影響等を勘案)
2024	(KPI) ・スタートアップDB等有力データベースへの関西スタートアップの登録 累計150社 ・スタートアップ英語情報の登録 (Crunchbase等への登録) 累計100社 (KGI) 「Global Startup Ecosystem Ranking」にて、KANSAIが30位以内に掲載



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS



Startups, Inc.

すべては、スタートアップのために。

■ ロゴマーク



テックハブとしての関西をイメージ
スタートアップ、投資家、自治体が相互連携して、
エコシステム形成